

5. 文禄の役 (1592年)

織田信長の死後、天下統一を実現した豊臣秀吉は、次に明の征服を目標として遠征軍を立ち上げました。秀吉はまず明に従属する朝鮮に対し日本への服属を強要しましたが、朝鮮がこれを拒否したため、朝鮮へ出兵。(1回目・・・文禄の役)

しかし、李舜臣の率いる水軍、明の援軍、朝鮮各地の民衆の抵抗によって苦戦し、休戦して退却しました。これを文禄の役といいます。

異国に出兵、文禄の役

1592年

12. 慶長の役 (1597年)

講和交渉の決裂により、5年後、秀吉は家臣の反対を押し切って再び朝鮮へ出兵しました。(2回目・・・慶長の役)

しかし翌年秀吉が病死したことによって、日本軍は朝鮮半島から撤退し、停戦協定が結ばれ長い戦いは終結しました。これを慶長の役といいます。

以後来るな！と言われる慶長の役

1597年

23. 関ヶ原の戦い (1600年)

豊臣秀吉の死後、秀吉の子(秀頼)の政権を守ろうとする石田三成などの大名が、実権を得ようと動き始めた関東の徳川家康を倒すために兵をあげました。全国の名が石田三成をトップとする西軍と、徳川家康をトップとする東軍に分かれて関ヶ原(岐阜県)で戦うことになりました。これを関ヶ原の戦いといいます。

当初西軍と東軍の兵力はほぼ同じでしたが、徳川家康が裏切りなどの政治工作を多数行ったため、戦いはわずか1日で東軍が勝利を決めました。

色めがね、東軍・西軍、敵味方

1600年

注意！ミスしやすいので気をつけよう！

石田三成・・・○

石田光成・・・×